

研究主題 「生徒が主体的に行う社会に関わる活」について

I 団体の概要

本研究会は、平成23年度に教科・科目「奉仕」における授業実践と、「社会の一員の自覚」と「規範意識と社会貢献意識の醸成」等を目的に発足し、13年目を迎えた。

これまで「ボランティア教育」に関心をもつ教育者や、ボランティア関係団体の方々が集まる研究会として活動している。

令和4年に開催された第46回全国高等学校総合文化祭東京大会「ボランティア部門」の委員として研究会が関わり、その他にも、教員や外部中間支援組織を対象とした研修会も計画・実施し、今年度は、新たに学校訪問（部活動）及び中間支援機関への訪問も企画・実施した。

II 研究の目的

昨年度に続き、研究主題「生徒が主体的に行う社会に関わる活動」について、コロナ禍で、ボランティア活動、社会貢献活動の在り方の変化について情報収集を行う。また、コロナ禍前の状況に戻せるよう教員及び中間支援組織をつなげる意見交換会を開催しニーズに応える。

コロナ禍以降、教科「人間と社会」における体験学習の在り方も変わっているという声を受け、体験学習の実態を調査するべく大学における関係機関と共同で研究を深めていく。

探究活動の視点に合わせ、社会貢献活動を行うことで、生徒の変容がどのように変わっていくか、発達段階に応じてどのような社会貢献活動が効果的かを考えていくと同時に、連携先との先進的な取組について情報収集を行い研修会等も計画・実施する。

III 研究の方法

- ①教員の他に、社会福祉協議会等の中間支援組織、社会貢献活動にかかわりのあるNPO団体等に声かけを行い、本研究会の研究協議会（月例会）等に関わってもらいながら研究を深める。
- ②定期的な研究協議会（月例会）を対面の他に、オンラインでの開催も視野に入れ、ハイブリッド形式で実施する。
- ③東京ボランティアレガシーネットワーク（以下、VLN）（東京都生活文化局都民生活部、東京都つながり創生財団）との連携を深め、本研究会の研修内容等を発信していく。
- ④教員を対象とした研修会（意見交換会）を計画し、教員のみならず、中間支援組織とのつながりをもてる機会を設定し、ねらいに沿った研修内容を推進していく。
- ⑥大学関係機関有識者と連携を図り、生徒の変容等に関する調査
・研究の方向性を探る。
- ⑤研究主題に沿った内容を定期的に進めていき、意見交換の場を作りお互いの悩みを共有、解決のヒントを探る。

IV 研究の内容

- ①コロナ禍で生まれた新たな社会に関わる活動を探る。
- ②教員、中間支援組織を対象とした研修会（情報交換会）を企画・運営しそれぞれの課題等の情報を得て解決の方向性を探る。
- ③社会貢献活動による生徒への効果（変容等）をみとる。
- ④コロナ後を見据えた新たな社会に関わる活動を探る。

V 実践事例（研修会）

○7月1日（火）実施

「ボランティアセンターと学校との連携について」

対 象：教員及び中間支援組織等

参加者：20名

本研究会として、初めて中学校と区市町村社会福祉協議会との連携教育に関する研修会を実施することができた。社協と学校との連携を強化することで、多くの市民が子供たちの育成に関わるきっかけになると分かった。



○8月6日（水）実施

「ボランティア活動」に関する情報交換会

対 象：教員、中間支援組織等

参加者：65名（昨年度より12名増）

今年で3回目を迎えたこの研修会が、参加者も増え多岐にわたる中間支援組織関係者の参加もあり、中間支援組織、学校の連携を図るきっかけづくりとしても期待ができる内容であった。



○11月20日（木）実施

「部活動訪問（赤羽北桜高等学校）」

対象：教員、中間支援組織

参加者：18名（会場、オンライン、生徒含む）

研究会として初めて社会貢献活動を行っている

学校への訪問を行い、活動報告を聞き意見交換を行った。活動の目的が明確であれば、生徒の視野やコミュニケーション能力が高まることが実感できた。



VI 研究の成果と課題

<成果>

①研修会2つ、都立学校訪問1つと、研究主題を満足できるような取組が新たに実施できたことは成果である。社会貢献活動に関する先進的な取組の学校はであると推察するので、情報収集しつつ次年度も実施ができるよう、計画していく。

②研修会や学校訪問について、紀要等にまとめ、Webページその他で発信を行うことを計画している。

<課題>

①本研究会に所属する教員数が少ない。社会貢献活動に関わる部活動がある学校などに、本研究会のチラシを送付することや直接お声掛けすることなどを通し、会員不足の解消に努めていく。

②これから社会と関わる活動を行う希望のある教員・学校に対して、魅力ある事例や情報をタイムリーに提供できるように社協や学校訪問などの設定時期や内容について精査していく。

<令和7年度連絡先>

団体名		東京都ボランティア教育研究会	
代表者	所属	東京都立田園調布高等学校	
	職 氏名	校長 藤田 豊	
	連絡先	03-3750-4346	
事務局	所属	東京都立赤羽北桜高等学校	
	職 氏名	主幹教諭 正木 成昭	
	連絡先	03-5948-4390	
団体ホームページ	URL	http://www.houshibora.com/	
	二次元コード		